

## 第5回アジア革新的エネルギー・環境化学工学会議

### (ASCON-IEEChE2016) 報告

大会実行委員長 亀山秀雄

この国際会議は、1988年に流動層の国際会議として始まり、2008年にエネルギー・環境分野に範囲を広げた国際会議 ASCON-IEEChE として発展改組し、日本、タイ、台湾、韓国を經由して今回で5回目になります。詳細はホームページ <http://www.ascon-ieeeche2016.org/index.html> をご覧ください。

**開催日：** 平成 28 年 11 月 13 日 (日) ~16 日 (水)

**場 所：** ホテルニューグランド横浜

**参加者数：** 参加登録は、255 名、実際の参加者は 225 名でした。一般登録 129 名、学生登録 74 名、同伴者 22 名でした。論文投稿数は 164 件でした。国別では、日本 92 名、韓国 24 名、台湾 23 名、タイ 14 名、中国 7 名、マレーシア 2 名、パキスタンとオーストラリア各 1 名でした。

**セッション：** 各セッションの発表を表 1 に示します。P2M セッションは、2014 年に続いて開催され、大会初日の午後に行われ、口頭発表 10 件、ポスター発表 3 件でした。座長は、千葉工大の田隈先生とキューピーの和田さんが担当してくださいました。今回の発表国は日本だけでしたが、会場には、韓国や台湾からの参加

者が多くみられました。セッションの後に両国の代表者がとも P2M を自国内に広めたいので情報提供をお願いしたいとの申し出がありました。今回、前回の韓国開催に次いで、2 回目になりますので、日本初の新しいマネジメント手法としての理解が深まってきたように思われます。

**ポスター賞：** 90 件のポスター発表に対して、参加者全委員による投票が行われ、金賞に日本、銀賞と銅賞に台湾の発表 5 件が選ばれ賞状と副賞が渡されました。

**論文の扱い：** P2M に関しては、従来の国際会議発表の扱いと同じく、会議主催者側の査読委員会で推薦論文を選んで、国際 P2M 学会の編集委員会に査読候補論文地して推薦して、査読作業が行われます。掲載は、来年の年会の査読と一緒に Vol. 12、No. 1 に掲載されます。それとは別に、化学工学会の英文誌に対して、2017 年度の定期刊行物に 20 報が掲載されるように、国際会議からの推薦論文に対して論文審査の申し込みをしています。

**懇親会とツアー：** 初日の夜の懇親会には 225 名全員が参加し、ホテルニューグランドのフルコースディナーを味わいながら和太鼓の実演とともに国際的な交流が行われました。初日のレディースプロ

表 1 セッション別発表者数

| Topics                                                                                                 | Total      | Oral      | Poster    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------|-----------|
| Biomass, Biofuel and Biochemicals                                                                      | 16         | 8         | 8         |
| Combustion, Pyrolysis and Gasification                                                                 | 16         | 6         | 10        |
| CO <sub>2</sub> Capture and Storage                                                                    | 10         | 4         | 6         |
| Energy Engineering(Renewable Energy, Hydrogen Energy, Energy Conservation, Storage, Energy Management) | 27         | 17        | 10        |
| Environmental Protection                                                                               | 19         | 8         | 11        |
| Fluidized Bed and Multiphase Reactors                                                                  | 30         | 10        | 20        |
| Membrane Separation                                                                                    | 26         | 8         | 18        |
| <b>Project and Program Management</b>                                                                  | <b>13</b>  | <b>10</b> | <b>3</b>  |
| Sustainable Engineering (New)                                                                          | 7          | 3         | 4         |
| <b>Total</b>                                                                                           | <b>164</b> | <b>74</b> | <b>90</b> |

グラムは、三溪園で日本文化を楽しみ、カップヌードルミュージアムで新しい日本食文化も体験し、好評でした。2日目は、47名が箱根と富士山5合目のツアーに参加し、紅葉と雲海を堪能されました。次回開催国：2018年は台湾で同じ時期に開催される予定で、その時もP2Mセッションが設けられますので、今から準備しておくといいでしょう。



和太鼓の演奏



開会挨拶



懇親会風景



小原会長の講演



ポスター賞受賞者



発表会場



2018年10月台湾日月潭で開催予定